

## 研修報告書

無会派 高橋美博

私は、7月30日（土）31日（日）神戸市で開催された第58回自治体学校に参加しました。その内容について報告します。

自治体学校は「憲法・地方自治・民主主義で地域・自治体に輝きを」をテーマに30日は全体会が、31日は9つの分科会と4つの講座、3つの現地分科会が、8月1日には全体会が開催されました。全国から研究者、自治体職員、議員、住民運動関係者など1,000人余の参加者が、「みんなが先生、みんなが生徒」を合言葉に学びと交流を深めました。



全体会会場の神戸芸術センター



分科会会場の神戸市外国語大学キャンパス

### 1日目 全体会 会場 神戸芸術センター芸術劇場

#### 記念講演 「日本型人口減少社会と地域の再生

—不安と公明の時代をどう生きるか—

講師 加茂利男大阪市立大額名誉教授・自治体問題研究所前理事長



今の世界は不安と混迷に満ちている。まじめに生きれば暗澹とすることばかり。今の日本は戦前の暗い谷間の時代に似ているのではと多くの方が不安や危機感を募らせている。今の時代の危うさを感じているなら、危機感を共有しながら、希望を見つけてそれを現実に帰るためにみんなができることをする。そういう気持ちを持ち合うことが大切。人口減少問題は国の経済・政治の結果であり変えることは可能なことであり、歴史、社会の歩みを通してどうしてこうなったのか、今後の社会のために、政治がなすべき方向性について述べた。

社会全体に横たわる問題と自ら生き方を重ね合わせ、今後の進むべき日本社会の在り方について示唆に富んだ講演だった。

## パネルディスカッション

### 「辺野古への新基地建設をめぐる争う国と沖縄県

—憲法・地方自治から見ると、何が見えてくるのか—

コーディネーター 榊原秀訓（南山大学教授）



国土の0.6%に米軍専用施設総面積73.8%が集中、基地が沖縄経済最大の阻害要因となっている。この間の国の沖縄県との法的争いについて専門の行政法の立場から「国は結局裁判では勝てず、沖縄県は負けない状況が続く」と解説した。

## パネラー

上里清美（沖縄県新日本婦人の会）

沖縄県の平均年収は355万円と全国最低、子どもの貧困率35.6%、ワーキング・プアも25.9%と全国一となっているなど沖縄の貧困の状況と、貧困問題が経済の自立を阻害している基地問題からきていることを明らかにした。

島袋良太（琉球新報記者）

国際情勢の変化に伴う基地の位置づけの変化について述べ、今沖縄で進行している米軍と自衛隊の一体化について取材に基づき暴露した。

伊芸佑得（うるま市島ぐるみ会議）

基地反対闘争の歴史と発展についてこれまでの経緯を紹介。反対行動のリアルな報告がされた。

**感想** 現地沖縄の状況について、現地住民の視点での報告によりリアリティをもって感じ、改めて沖縄の大変な現状を感じ取れた。これからも日本全体の問題として連帯して取り組んでいきたい。

## 2日目 分科会 会場 神戸市外国語大学キャンパス

第8分科会 「地方創生とコンパクトシティ、公共施設等再編整備計画」

助言者 中山 徹（奈良女子大学教授）



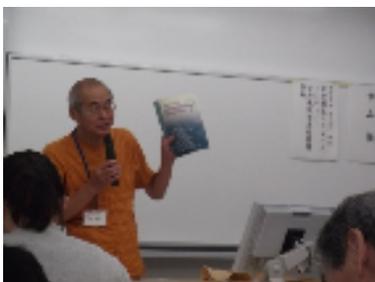
新たに始まった国土と地域の再編成は、人口減少、高齢化に対応するため首都圏の国際競争力強化、高齢化社会を互助で乗り切るためにコミュニティの再編成を進めるものとなっている。地方創生は、地域とコミュニティ再編成を自治体が進める仕組みで、大幅な人口減少を前提に、コンパクト化と連携で変化に耐えうる地域に造り変えようとしている。

国が進めている立地適正化計画、公共施設等総合管理計画などを解説、問題

点とそれにどう対応すべきか述べた。

#### 報告「暴走するリニア新幹線計画」

河村晃生（慶応義塾大学名誉教授／「ストップ・リニア！訴訟」原告団長）



国が進めるスーパー・メガリージョンの一環としてリニア新幹線計画が進められている。リニアの問題点について経済性の面から、利用客を在来の新幹線と奪い合いリニアの採算性は成り立たない。技術・環境面から、事故発生の対応、騒音、日照、地下水脈の分断、残土処理など疑問な問題が山積みで

ある。着工は認められないとリニアの問題点を述べた。

#### 報告「市民の暮らしや活動を支える公共施設を守り、歴史や文化が息づくまちづくりへ」 東大阪市職員労働組合 大橋信次

東大阪市は、2013年「公共施設マネジメント計画」（案）、「公共施設再編整備計画」（案）を決定発表、その後市は遮二無二「解体」計画を推し進めている。1980年から市内の労働組合や民主団体が結集して運動を進めてきた「みんなで作る東大阪」市民の会が要望書を提出、独自ビラを全戸配布するなど反対運動を進めてきた。歴史的にも貴重な建築物を残すため「守る会」が結成されるなど運動も広がっている。今後の取り組みかたについて貴重な経験を提供してくれた報告だった。

#### 参加の感想と学んだこと

自治体学校は、私にとって毎回その時々自治体を取り巻く問題について取り上げ専門的立場からの解説とアドバイス、各地の経験を提供してくれる貴重な場です。これまでも何度も参加してきましたが、今回の記念講演、パネルディスカッションどちらも大変勉強になるものでした。

分科会は、今袋井市でも取り組んでいる「公共施設マネジメント」を選択し、その狙いと問題点、各地の運動・取り組みを学びました。これらで得た成果をこれからの議会の審議等で生かしていきたいと思えます。